

「ハード・ソフト(要素技術) ワーキンググループ」のご紹介

2017年9月5日(火)
ハード・ソフトWG

- WG活動目標

現状技術で実現可能なIoT EDGE機器の確認を皮切りに、ニーズ、ビジネス等の他WGにて議論された新しいニーズ、アプリケーション等に合致したEDGE機器の定義を確立する。

並行して信頼性、セキュリティの観点からも実現可能かどうかの検証を行う。

● WG活動内容

- 1)ハード／ソフト 既存技術の集約から現状実現可能なIoT
EDGE機器の確認
- 2)ニーズ、ビジネス等、他WGからの情報も参考にさせて頂き、
プロダクトアウトでは無くマーケットインの観点でユーザー
ニーズに則した新しいIoT EDGE機器の定義確立
- 3)IoT EDGE機器に対する信頼性確認・評価・試験の課題抽出
- 4)IoT EDGE機器運用時のセキュリティ面での課題抽出と解決策
の提示

- 参加企業 (順不同)

株式会社東芝
リコー電子デバイス株式会社
旭光電機株式会社
株式会社UL Japan
アーズ株式会社
日産化学工業株式会社
富士電機株式会社
コーデンシTK株式会社

- 入会検討されている皆さまへ

運営委員会、事務局、また各WGの皆さまと積極的なコミュニケーションを取らせて頂きながら、既存技術、またその応用により実現可能なIoT EDGE機器から、「世の中に無い新しい」機器までも視野に入れEDGE機器の定義確立を進めたいと考えております。

ご賛同頂ける方々、ぜひ当コンソーシアムへのご参加をご検討お願い致します。